



斐然成章

成章中学校 学校便り
令和7年10月29日
第5号
文責 神崎 浩之

学校教育目標 「心豊かに、自他を高め、章を成す」

～ 変化に向き合い、信頼される優しさをもち、社会に貢献する ～

感じて 気づき 実践する

10月14日(火)より後期がスタートしました。前期を振り返り、「分かったこと」「できるようになったこと」や「足りなかったこと」「次にやりたいこと」を整理して後期の学習に取り組んでほしいと思っています。

全校集会の中で、生徒の皆さんに、「感じて」「気づき」「実践する」ことの大切さを以下のように伝えているところです。

《夏の猛暑が続く中で秋を感じる》「虫の声を声として聞く日本」として、日本の人は虫の声を『声』として聞くことができます。例えば、文部省唱歌「虫のこえ」では、松虫は“チンリロリン”、鈴虫は“リーンリーン”と歌われています。これは私たちの感性と創造性の高さを示しています。それは、文化的背景として、日本では、虫の声を「聞く」こと自体が季節の風物詩として親しまれており、「虫聞き」や「聞きなし」といった言葉があるように、虫の鳴き声を擬音語や擬声語で表現することが文化的に根付いています。科学的背景として、日本では虫の声を言葉として左脳で処理していると言われています。一方で、西洋では、虫の声を音楽や雑音として右脳で処理するそうです。そこにある創造性は、虫の声を言葉にするということは、音に意味を見いだす力があるということです。これは、自然を観察し、**感じ取り、気づき、表現する力**です。俳句や和歌、折り紙や工芸品、アニメやゲームなどの独特な文化は、日本で暮らす人の繊細な感性から生まれています。「**感じる力**」、「**気づく力**」、「**言葉にする力**」を大切にしてください。小さなことに感じ、気づき、それを形にする力こそが、日本の創造性です。そして、それは、皆さん一人一人の中にも、しっかりと息づいています。



《学びの土台である整理・整頓は心の鏡》現在、生徒会の生活委員会が取り組んでいる「B1グランプリ」(整理・整頓コンクール)に先立って話したことです。『ディズニー掃除の神様が教えてくれたこと』(鎌田洋著)を紹介しながら、整理・整頓は心の鏡であることを伝えました。ディズニーランドのすごいところは、キャラクターやアトラクションだけではないところです。朝から夜まで、絶え間なく多くの人が訪れているのに、園内にはゴミがほとんど落ちていません。トイレや通路、看板の奥までいつもきれいに保たれています。そこには、「掃除とは、汚れているからするのではなく、汚さないためにする。」「これはゴミではありません。夢の国でゲストが落としていった「夢のカケラ」を拾っているのですよ。」とあるように“掃除の哲学”があるからです。その積み重ねが、「夢の国」ディズニーランドの空気感をつくっているのです。掃除をする人の「心」が、その場所の「雰囲気」をつくる。これは、学校でもまったく同じことです。自分と友だちがどうすれば気持ちよく過ごせるのか。教室や学校をどうすればもっとよくできるのか。**感じて、気づき、行動する心**が、信頼される優しさや思いやりにつながります。一人一人が自分の身の回りを整え、教室や学校をきれいにしようとする気持ちが集まれば、成章中学校全体が、もっと明るく、もっと温かい場所になります。



変化に向き合い、信頼される優しさをもち、社会貢献する人を目指して、身近なことに、感じて、気づき、実践していく教育活動に取り組んでいきます。

果敢な闘士たれ、清良き敗者たれ (小泉信三)

10月11日、12日に佐賀市中体連新人大会が開催されました。激励式では、これまで取り組んできたことに挑戦し、試合終了と同時に、グッドウィナーの精神（よき勝者たれ）、グッドルーザーの精神（よき敗者たれ）相手を称え、自分の頑張りを誉め、仲間に感謝し、支えてくれている保護者や顧問の先生に感謝を表してほしいことを伝えました。それが「信頼される優しさ」となり、人として一回り大きく成長することにつながると思います。

また、佐賀市中体連新人大会は今回の第70回大会をもって役目を終えることになりました。生徒として、顧問の先生として、保護者として、多くの方々が大会を通して様々なことを教え育ててもらったことだと思います。無くなってしまうことに一抹の寂しさを感じるところです。中体連新人大会に感謝したいと思います。



文化発表会・合唱コンクール ～探究的な学びを～

10月31日（金）に文化発表会・合唱コンクールを開催します。今年度は、日頃の教科の学習を発展させた探究的な学びの成果としてステージや展示で発表することになっています。答えのない問題に対して、生徒自身が自ら問いを立て、自分で考え判断し、他者と協働しながら最適解や納得解を見つけ実践していく活動が“探究的な学び”です。学習指導要領では文化的行事として、「平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりする」とあります。24日から文化発表会に向けての学習が始まっています。各教科の既習内容や調べた内容を活用して、意欲をもって課題解決を図る姿が多く見られます。今から成果の実践発表がすごく楽しみです。



「パスワードと数学」のテーマで学びを深めている様子

また、合唱コンクールでは、外部より歌唱、伴奏、教科教育の立場の方に審査をお願いしています。合唱する上で大切にする視点もご示唆いただき、歌にも更なる深まりがでてくると思っています。保護者の皆様に、ご参観いただけたら幸いです。

教 科	内 容	1 年 生	2 年 生	3 年 生
総合的な学習の時間	1 年：福祉って何だろう 2 年：私たちの職業体験 3 年：佐賀・地域参画プロジェクト	34 人	43 人	43 人
国語科	書写作品の展示、本に関する展示	14 人	13 人	12 人
社会科	郷土の偉人 武富 時敏について	9 人	11 人	12 人
数学科	身の回りの数学的事象について調べよう	15 人		12 人
理科	身の回りの科学を調査・発表しよう	13 人	14 人	12 人
英語科	英語でプレゼンテーション	8 人	11 人	12 人
音楽科	合唱(アカペラ)	9 人	9 人	12 人
美術科	①風景画、②切り絵、③ネイルアート	29 人	41 人	37 人
技術科	木材加工		7 人	7 人
家庭科	よりよい家庭生活について		6 人	7 人

文化発表会に向けての各教科の学習内容